

予算を重点的に配分した主な事業

協働のまちづくり第2ステージのさらなる推進

- ・地域づくり推進事業 1億9,338万円
振興会などが地域の課題解決や地域づくり活動を行う場合に、協働のまちづくり交付金・地域運営交付金などを交付して支援する。
- ・地区センター管理運営事業 1億5,980万円
16の地区センターにおいて指定管理者制度による運営を開始する。
- ・協働のまちづくり基金積立金 3億17万円
第2ステージの実施期間である次の5年間に対応するために協働のまちづくり基金に積立を行う。

奥州市版総合戦略の推進

- ・以下の4項目 2億3000万円
 - 安定した雇用と新しい産業の創出
 - 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ
 - 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓
 - 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現

国民体育大会の成功に向けた取り組み

- ・第71回国民体育大会事業 11億2,270万円
第71回国民体育大会および第16回全国障害者スポーツ大会を成功させるため、市民総参加による諸準備の着実な推進と競技施設などの整備により両大会の円滑な運営を図る。

子育て支援・教育環境整備

- ・子ども・子育て支援事業 17億4,747万円
子ども・子育て支援新制度による認定こども園や幼稚園、公立施設を利用する保護者に対する支援を行う。
- ・胆沢区統合中学校新築事業 26億2,178万円
胆沢区3中学校を統合し、29年4月に開校予定(28年度

は校舎建築、屋内運動場などの工事を実施)。

地域産業の振興

- ・奥州ふるさと特産品返礼事業 1億546万円
ふるさと応援寄附をしていただいた人に、市特産品などの謝礼品を送る。
- ・多面的機能支払対策事業 10億6,275万円
農村での地域資源の良好な保全と、その質の向上を図る活動を支援する。
- ・農地集積・集約化対策事業 1億1,010万円
地域の中心となる経営体に農地の集積、集約化を進め、地域農業の経営強化を図る。

- ・商店街活性化対策事業 9,043万円
商店街の集客力の向上と街なかのにぎわいを創出するため、まちなか交流館の運営、商店街への新規出店などを支援する。

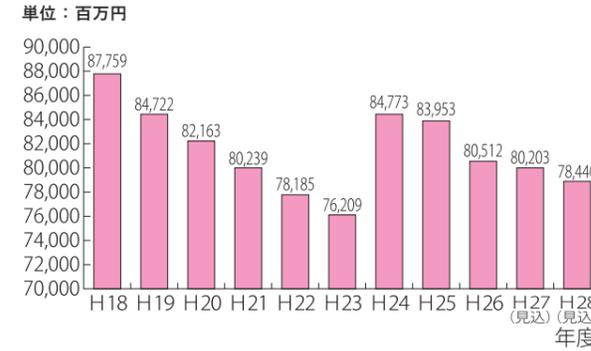
都市環境・生活空間の整備

- ・久田前田中線整備事業 2億248万円
JR東北本線で東西に分けられている水沢区の市街地を結ぶ路線を整備(28年度は照明、橋りょう排水などの工事を実施)。
- ・スマートインターチェンジ整備事業 3億7,819万円
(仮称)奥州スマートインターチェンジの本格的工事に向けた負担金の支出、電柱の移転補償などを実施する。
- ・社会資本整備総合交付金事業 5億9,509万円
衣川橋六道線などの幹線道路・生活関連道路などの新設および改良工事を実施する。
- ・都市基盤長寿命化事業 5億3,674万円
老朽化した道路、橋りょう、公園の予防的な修繕などを実施する。
- ・市営住宅建設事業 2億6,623万円
前沢区内に24戸の木造市営住宅を建設(28年度は14戸)。

【用語解説】

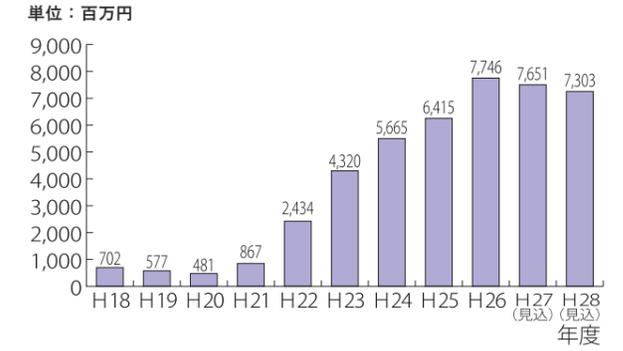
- ◇財政調整基金…年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るための基金
- ◇プライマリーバランス…市債を除いた歳入と、市債の元金返済と利息の支払いを除いた歳出の収支。黒字であれば借金に頼らない行政運営が出来ていることを示す
- ◇指定管理者制度…公の施設について、民間事業者・団体などを指定し管理運営してもらう制度。民間の知識などを活用し、住民サービスの向上と経費の削減を図ることが目的。管理運営に必要な経費を、指定管理料として市が民間事業者などに支払う
- ◇子ども・子育て支援新制度…子どもを産み、育てやすい社会を目指して創設。市町村は、地域のニーズを把握した上で、保育所の待機児童の解消や、子育て支援事業の拡充などを計画的に実施
- ◇多面的機能支払対策事業…国土や自然環境の保全、美しい景観の形成など、農業・農村が持つ多面的な機能の維持管理のための地域活動や、農地、水路、農道など地域資源の質の向上を図る共同活動に支払う交付金

一般会計の市債残高の推移



市の借金「市債」の残高の推移
市の借金である市債の一般会計での残高の推移は、上のグラフ(左)のとおりです。23年度までは着実に減少させてきましたが、24年度に土地開発公社の債務解消のため「第三セクター等改革推進債」を発行した影響で増加しました。25年度からは発行を再び抑制し、プライマリーバランスの黒字を堅持しており、28年度末の残高は784億4千万円と見込んでいます。今後も着実に残高を減らし、将来の負担を減らしていきます。

財政調整基金残高の推移



市の貯金「財政調整基金」の残高の推移
市の貯金である財政調整基金の残高の推移は、上のグラフ(右)のとおりです。財源に余裕のあるときは積み立てし、不足するときは取り崩して事業を行います。28年度は国体の開催や奥州市版総合戦略への対応のため、基金の取り崩しにより収支の均衡を保つこととしていきます。28年度末の残高は73億300万円と見込んでいます。

28年度全会計予算額 (単位: 万円)

名称	28年度予算額	27年度予算額	増減額	対前年度伸び率(%)	28年度末市債残高見込
一般会計①	595 億 780	593 億 5,530	1 億 5,250	0.3	784 億 4,018
国民健康保険(事業勘定)	141 億 1,860	150 億 156	△ 8 億 8,296	△ 5.9	—
国民健康保険(直営診療施設勘定)	4,461	1,113	3,348	300.7	2,460
後期高齢者医療	11 億 4,238	11 億 6,568	△ 2,330	△ 2.0	—
介護保険(保険事業勘定)	114 億 3,471	108 億 8,142	5 億 5,329	5.1	—
介護保険(介護サービス事業勘定)	1 億 6,945	1 億 7,061	△ 116	△ 0.7	3 億 4,705
簡易水道事業	1 億 5,212	11 億 7,457	△ 10 億 2,245	△ 87.0	3 億 9,570
下水道事業	35 億 8,989	35 億 9,579	△ 590	△ 0.2	239 億 8,198
農業集落排水事業	14 億 1,499	14 億 3,906	△ 2,407	△ 1.7	129 億 682
浄化槽事業	3 億 6,415	3 億 5,159	1,256	3.6	12 億 6,860
バス事業	1 億 1,733	1 億 1,989	△ 256	△ 2.1	8,200
米里財産区	1,411	1,337	74	5.6	—
特別会計②	325 億 6,234	339 億 2,467	△ 13 億 6,233	△ 4.0	390 億 675
水道事業(収益的支出)	31 億 5,887	25 億 853	6 億 5,034	25.9	—
水道事業(資本的支出)	25 億 7,904	19 億 1,068	6 億 6,836	35.0	160 億 4,467
病院事業(収益的支出)	54 億 4,852	53 億 5,196	9,656	1.8	—
病院事業(資本的支出)	2 億 3,686	6 億 2,777	△ 3 億 9,091	△ 62.3	15 億 6,109
国民宿舎等事業(収益的支出)	2 億 9,192	2 億 7,236	1,956	7.2	—
国民宿舎等事業(資本的支出)	1,426	2,945	△ 1,519	△ 51.6	—
企業会計③	117 億 2,947	107 億 75	10 億 2,872	9.6	176 億 576
総計(①+②+③)	1,037 億 9,961	1,039 億 8,072	△ 1 億 8,111	△ 0.2	1,350 億 5,269